

2019年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年12月21日

| | |
|---|-----------------------------|
| 上場会社名 株式会社大光 コード番号 3160 URL http://www.oomitsu.com 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 2019年2月12日 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無 | 上場取引所 東 TEL 0584-89-7777 |
|---|-----------------------------|

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の連結業績(2018年6月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年5月期第2四半期 | 30,771 | 4.2 | 239 | 21.5 | 274 | 13.0 | 172 | 18.0 |
| 2018年5月期第2四半期 | 29,534 | 7.9 | 305 | 13.7 | 315 | 12.0 | 210 | 37.8 |

(注) 包括利益 2019年5月期第2四半期 187百万円 (35.8%) 2018年5月期第2四半期 137百万円 (27.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年5月期第2四半期 | 13.02 | |
| 2018年5月期第2四半期 | 17.76 | |

(注) 2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年5月期第2四半期 | 18,818 | 4,608 | 24.5 | 347.80 |
| 2018年5月期 | 18,582 | 4,467 | 24.0 | 337.18 |

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 4,608百万円 2018年5月期 4,467百万円

(注) 2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算出しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年5月期 | | 3.50 | | 3.50 | 7.00 |
| 2019年5月期 | | 4.00 | | | |
| 2019年5月期(予想) | | | | 4.00 | 8.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-----|------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 62,600 | 3.4 | 870 | 4.0 | 900 | 3.6 | 570 | 1.6 | 43.02 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2019年5月期2Q | 13,450,800 株 | 2018年5月期 | 13,450,800 株 |
| 期末自己株式数 | 2019年5月期2Q | 200,012 株 | 2018年5月期 | 200,008 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2019年5月期2Q | 13,250,790 株 | 2018年5月期2Q | 11,843,192 株 |

(注)2017年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年5月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善するなど景気は緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費は十分な回復までには至らず、米国の通商政策の変化による世界経済への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、依然として消費者の節約志向・低価格志向は根強く、さらに人手不足による人件費や物流費の上昇や、全国各地で発生した豪雨や台風など異常気象の影響もあり、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループでは業務用食品等の卸売事業である「外商事業」において、新規開拓の強化に加え、既存得意先との取引拡大や前連結会計年度に獲得した新規得意先が寄与し、売上が伸びました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」において、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っております。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は307億71百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は2億39百万円（前年同期比21.5%減）、経常利益は2億74百万円（前年同期比13.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億72百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、商品提案会を実施するなど、既存得意先との深耕に努めるとともに、大手外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組む、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は203億12百万円（前年同期比3.1%増）となり、営業利益は92百万円（前年同期比28.2%減）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、それぞれの店舗において、品揃えの充実やメーカーフェア等の販売施策の展開、近隣飲食店等への営業活動の強化などに注力したことに加え、新規店舗が寄与し売上が伸びました。新規出店については、2018年7月に浜松上浅田店（浜松市中区）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は94億56百万円（前年同期比4.1%増）となり、営業利益は6億12百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として46店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、海外を含めた新規得意先の開拓など、国内外への販路拡大に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組む収益改善に努めるとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は10億53百万円（前年同期比32.3%増）となり、営業利益は16百万円（前年同期比39.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が3億75百万円減少したものの、商品が4億41百万円増加したこと等により、流動資産は全体で1億83百万円増加しました。一方固定資産は、建物及び構築物が85百万円減少したものの、投資有価証券が1億23百万円増加したこと等により、全体で51百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して2億35百万円増加し、188億18百万円となりました。

（負債）

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が4億85百万円増加したこと等により、流動負債が全体で5億60百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が4億81百万円減少したこと等により、全体で4億65百万円減少しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して94百万円増加し、142億9百万円となりました。

（純資産）

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億26百万円増加したこと等により、1億40百万円増加し、46億8百万円となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは2億50百万円の収入となりました。これは、たな卸資産の増加4億43百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益2億74百万円、仕入債務の増加3億96百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3億26百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2億19百万円、投資有価証券の取得による支出1億6百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3億円の支出となりました。これは、短期借入金の純増額4億85百万円があったものの、長期借入金の返済による支出7億12百万円等によるものであります。

これらに換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ3億75百万円減少し、8億22百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の連結業績予想につきましては、2018年7月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,197,823 | 822,234 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,155,505 | 5,228,226 |
| 商品 | 3,651,417 | 4,093,292 |
| 貯蔵品 | 25,302 | 26,636 |
| その他 | 828,870 | 871,263 |
| 貸倒引当金 | △7,191 | △6,429 |
| 流動資産合計 | 10,851,728 | 11,035,225 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,332,413 | 3,246,481 |
| その他(純額) | 1,408,426 | 1,458,489 |
| 有形固定資産合計 | 4,740,840 | 4,704,971 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産 | 34,297 | 28,781 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,121,007 | 1,244,752 |
| その他 | 2,312,294 | 2,281,545 |
| 貸倒引当金 | △477,479 | △477,211 |
| 投資その他の資産合計 | 2,955,822 | 3,049,087 |
| 固定資産合計 | 7,730,959 | 7,782,839 |
| 資産合計 | 18,582,688 | 18,818,064 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2018年5月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,257,550 | 6,653,960 |
| 短期借入金 | 2,339,000 | 2,824,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,324,619 | 1,094,212 |
| 未払法人税等 | 196,308 | 131,583 |
| 賞与引当金 | 201,759 | 203,109 |
| ポイント引当金 | 20,732 | 21,242 |
| その他 | 998,308 | 970,297 |
| 流動負債合計 | 11,338,278 | 11,898,405 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,447,109 | 965,319 |
| 役員退職慰労引当金 | 237,504 | 226,237 |
| 退職給付に係る負債 | 338,672 | 353,110 |
| 資産除去債務 | 309,406 | 312,859 |
| その他 | 443,786 | 453,572 |
| 固定負債合計 | 2,776,480 | 2,311,098 |
| 負債合計 | 14,114,758 | 14,209,504 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,076,372 | 1,076,372 |
| 資本剰余金 | 980,171 | 980,171 |
| 利益剰余金 | 2,407,661 | 2,533,764 |
| 自己株式 | △33,901 | △33,904 |
| 株主資本合計 | 4,430,303 | 4,556,404 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 37,971 | 51,329 |
| 繰延ヘッジ損益 | △141 | △14 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △203 | 839 |
| その他の包括利益累計額合計 | 37,626 | 52,155 |
| 純資産合計 | 4,467,929 | 4,608,559 |
| 負債純資産合計 | 18,582,688 | 18,818,064 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 29,534,097 | 30,771,866 |
| 売上原価 | 24,049,756 | 25,051,904 |
| 売上総利益 | 5,484,341 | 5,719,962 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,178,854 | 5,480,172 |
| 営業利益 | 305,486 | 239,789 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,927 | 6,209 |
| 受取配当金 | 8,680 | 1,979 |
| 受取賃貸料 | 30,473 | 45,239 |
| 受取手数料 | 11,117 | 11,263 |
| その他 | 12,456 | 24,456 |
| 営業外収益合計 | 68,655 | 89,148 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,467 | 12,834 |
| 賃貸費用 | 36,526 | 36,106 |
| 固定資産除売却損 | 3,327 | 1,744 |
| その他 | 4,552 | 3,905 |
| 営業外費用合計 | 58,872 | 54,591 |
| 経常利益 | 315,269 | 274,346 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 315,269 | 274,346 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 104,740 | 98,046 |
| 法人税等調整額 | 194 | 3,818 |
| 法人税等合計 | 104,934 | 101,865 |
| 四半期純利益 | 210,334 | 172,481 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 210,334 | 172,481 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 210,334 | 172,481 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △73,695 | 13,358 |
| 繰延ヘッジ損益 | △584 | 127 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,639 | 1,043 |
| その他の包括利益合計 | △72,640 | 14,529 |
| 四半期包括利益 | 137,694 | 187,010 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 137,694 | 187,010 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

| | 前第 2 四半期連結累計期間 (自 2017年 6 月 1 日 至 2017年 11 月 30 日) | 当第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 6 月 1 日 至 2018年 11 月 30 日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 315,269 | 274,346 |
| 減価償却費 | 225,734 | 239,735 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 323 | △1,030 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 4,237 | 1,349 |
| ポイント引当金の増減額 (△は減少) | △3,033 | 509 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 7,488 | △11,267 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 14,400 | 15,927 |
| 受取利息及び受取配当金 | △14,608 | △8,189 |
| 支払利息 | 14,467 | 12,834 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 3,327 | 1,744 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △115,371 | △72,720 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △352,496 | △443,208 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 482,604 | 396,410 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △94,075 | △16,265 |
| その他 | 15,080 | 30,825 |
| 小計 | 503,348 | 421,001 |
| 利息及び配当金の受取額 | 10,437 | 3,578 |
| 利息の支払額 | △10,511 | △8,955 |
| 法人税等の支払額 | △154,346 | △164,831 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 348,929 | 250,793 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △333,468 | △219,995 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,550 | △1,950 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △4,723 | △106,030 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △14,745 | △10,178 |
| その他 | △987 | 11,973 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △355,475 | △326,180 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 993,000 | 485,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △952,569 | △712,197 |
| 配当金の支払額 | △35,426 | △46,265 |
| その他 | △24,887 | △26,610 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △19,882 | △300,072 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 53 | △128 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △26,376 | △375,588 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 388,906 | 1,197,823 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 362,530 | 822,234 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年6月1日 至2017年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|------------|-----------|---------|------------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | 外商事業 | アミカ事業 | 水産品事業 | 合計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 19,707,147 | 9,069,466 | 748,990 | 29,525,604 | 8,493 | — | 29,534,097 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 1,695 | 10,724 | 47,679 | 60,098 | — | △60,098 | — |
| 計 | 19,708,842 | 9,080,190 | 796,669 | 29,585,702 | 8,493 | △60,098 | 29,534,097 |
| セグメント利益 | 128,835 | 633,433 | 27,593 | 789,862 | 1,500 | △485,875 | 305,486 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△485,875千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年6月1日 至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|------------|-----------|-----------|------------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | 外商事業 | アミカ事業 | 水産品事業 | 合計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 20,312,128 | 9,445,444 | 1,005,783 | 30,763,356 | 8,509 | — | 30,771,866 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 651 | 11,154 | 47,937 | 59,744 | — | △59,744 | — |
| 計 | 20,312,779 | 9,456,599 | 1,053,721 | 30,823,100 | 8,509 | △59,744 | 30,771,866 |
| セグメント利益 | 92,510 | 612,454 | 16,716 | 721,681 | 2,205 | △484,097 | 239,789 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△484,097千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。